

令和 5年 3月 6日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：医療法人社団 水澄み会 グループホームもやいの家うのはな
施設種類：認知症対応型共同生活介護

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議の開催を中止とし、参加予定の方々へは文書により事業所活動の報告を行い、意見をいただく事とした。

文書配布：

利用者	人	知見を有する者等	人
利用者家族	9人	地域包括支援センター職員	人
地域住民の代表	2人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1人

【報告内容】

1、現況、活動状況報告

利用者様状況

- ・女性 9名の方ご利用中
- ・介護度 ①・・・3名
②・・・2名
③・・・2名
⑤・・・1名
- ・平均介護度 2.2
- ・利用者様年齢 70歳代・・・1名
80歳代・・・4名
90歳代・・・3名
- ・平均年齢 89.3歳
- ・入院者 なし
- ・アクシデント1件 ベッドからの滑り落ちによる圧迫骨折。
- ・退居者 1名 特別養護老人ホームへ入居される。
- ・新規入居者 2階の有料老人ホームから1名の方が入居。
- ・コロナ感染症
12/6 職員1名の陽性が分かりホーム内を隔離対応とし、消毒・ガウン着用を実施。職員6名・利用者7名が感染し、10日間の隔離療養をしていただく。

隔離解除直後は歩行などの面で低下が見られた方がいたが、徐々に回復に向かわれている。現在、職員は週2回の抗原検査を実施している。

5回目オミクロン株対応ワクチン接種は1/18に実施された。

面会についてはこれまで窓越しでの面会としていたが、県内・益田市内の感染者数の減少と、感染症法上2類から5類へ移行することが決定したことから、今後はホーム所定の場所で面会していただくこととした。

・活動状況

書初め・・・思いつくまま好きな言葉を書き上げていただいた。

おやつ作り・・・「ぜんざい」

ラジオ体操、食前の口腔体操など、

日常的な家事作業（調理・洗濯・掃除）

器具を使った運動、階段や廊下を使って歩行運動

塗り絵、パズル、ドリル

勉強会 「接遇（家族様対応）」「コンプライアンス」

2、身体拘束等の適正化の取り組み

第4回 虐待防止・身体拘束廃止委員会報告

1、現状確認

・身体拘束を行っている事案はなし

2、勉強会 「介護現場における利用者の権利擁護とは」

介護職員は、何らかの支援を必要とする利用者様にとって対等な関係になり辛いことを自覚すること。そういう関係性は無自覚なまままでいた時、権利侵害が起こりやすくなる。利用者様・職員双方が人として尊重されることが権利擁護に繋がっていく。

3、その他

・外部評価 2/6 予定

・第6回運営推進会議はホームにて開催の予定

【寄せられたご意見】

11名の方に文書を送らせていただき、8名の方からお返事を頂く。

<ご意見等>

・コロナ対策 まだまだ大変ですね。陽性者が出るのは仕方ないとしても、今後の措置が適確になされていて、頭が下がる思いです。

・3月9日から3月22日に公民館で押し花の作品展を開きます。お気に入りの作品があれば持ち帰りもできます。

・色々とお面倒をおかけしておりますが、今後ともよろしくお願い致します。

・面会の再開、とても嬉しく思います。

・施設内でのコロナ感染が判明した際には、職員の勤務調整や入居者の方の体調変

化等とても気がかりだったことと思います。利用者の方の運動機能の低下については改めて新型コロナウイルスによる行動制限の影響を感じさせられました。

・施設内での面会再開は利用者、家族の皆さんも心待ちにされていたと思います。この数年でオンラインでの面会が主流になり戸惑うことも多かった一方で、来訪が難しい方ともやり取りができるといった良い面もありました。今後も必要に応じてオンラインを活用できると良いですね。

・天気が良い日は暖かさを感じられるようになりましたが、体調管理など難しい季節です。どうかお身体には十分お気をつけ下さい。

以上